

## 平成30年度 事業者向け 児童発達支援 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	2		限られたスペースの中で、場所の使い方を職員間で話し合い、過ごしやすいようにしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	5			利用者数以上に十分な職員配置をしている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5			玄関正面の車いす用スロープや室内環境においても利用者に合わせて踏み台や小さな椅子などを用意している。その他、ユニバーサルトイレも設置している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	2		日々の記録と会議を活用している
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1		日々の中で電話やメールで意向を伺っている。さらに必要に応じて家庭訪問も行う。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	4		HPの掲載に加え、会報で配布するとともに、事業所で閲覧できるように玄関付近においておく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4		今後、第三者評価を取り入れるか検討する
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	2		事業所内外で研修機会を設けている。その他、支援のSV（スーパーバイズ）を受けることができるようネット会議のシステムを設けている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4	1		アセスメントシート等を作成し、個々のニーズや将来への見通しを基に支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1		法人独自の様式を使用し、個々の状態像を数値化し、必要な支援が何か検討している。
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で	2	3		現在の発達年齢や将来の見通しについてご家族とも話し合い支援内容を設定している。

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5			行っている。
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	3		チームで記録を確認し、次回の利用に反映している。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	2		個々の課題にあわせて毎回プログラムを設定している。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	2	3		利用者の状況に合わせて計画を立てている。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			支援開始前に、活動・支援内容や役割分担を確認し決めている。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1		日報、記録をもとに支援者と管理者が情報を共有している。
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			年に2回のペースでモニタリングを行い、利用者の状況に合わせて見直しを行っている。
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5			日々の記録をもとに次回の利用に向けて支援の検証・改善を行っている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	2		適切な職員が行っている。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		5		相談員や保護者を通しての情報共有に加え、必要に応じて関係者とカンファレンス等を行っている。
	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		5		今のところ対象児がいないが、必要に応じて個別に対応する。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		5		今のところ直接のやりとりはありません。相談員や保護者を通して情報を把握し対応していく。
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	3		移行支援として、該当する事例なし。日々の連携として、関係機関と情報共有している。
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	3		移行支援として、該当する事例なし。日々の連携として、関係機関と情報共有している。
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2		市内に児童発達支援センターがないこともあり、連携できていないが、今後設置の予定なので連携していきたいと考えている。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		4	1	交流の機会は今のところない。利用者の状態に合わせ、個別の支援計画に応じて検討していきたい。
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	4		参加している。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			送迎時の情報共有のほかに、電話やメールなどを活用している。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		5		個々の支援内容をご家族にも伝え、理解いただいている。 保護者向けの勉強会を開催している。
31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	2		見学時や契約時に丁寧に説明するようにしている。	

保護者への説明責任等	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3	2		ガイドラインの内容もふまえて計画を作成している。
	33	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1		いただいた相談に乗りながら、助言等支援を行っている。
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	2		保護者勉強会を開催し、情報共有の場を設けた。
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	2		いただいたご意見を早期に対応できるよう迅速に情報共有し、対応できるようにしている。
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1		エリア内で毎月お便りを発行している。
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5			注意している。
	38	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			配慮している。
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関われた事業運営を図っているか	3	2		地域の行事への参加もちろん、エリア主催でイベントを開催し、地域の方と交流する機会を設けている。

非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	1	4		各マニュアルは職員に周知しているが、保護者に全てのマニュアルを周知できていないので必要に応じて伝えるようにしていく。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1	4		災害時のマニュアルを作成し、避難訓練を実施している。
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4	1		職員への周知と積極的な研修の参加を促していく。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	3		現在のところ未実施ではあるが、必要に応じて丁寧に説明し、計画に記載し、同意いただくように努める。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	3		会議を通して、報告があり。必要に応じてカンファレンスを行っている。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	2		日報や記録を活用し、会議等で事故防止に努めている。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	1	4		今のところ対象児がいないが、必要に応じて個別に対応する。